

## 会議議事録

事業名	令和7年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業 (4) 職業実践専門課程等の充実に向けた取組の推進①社会的評価の一層の向上のための共通基盤整備の推進
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	第2回全国職業教育協議会
開催日時	令和7年10月23日(木) 15:00~17:00
場所	ビジョンセンター西新宿
出席者	委員対面：下園 恵子、蓑原 睦、岡村 慎一、五十部 昌克、 鈴木 弘明、秋本 泰行、加藤 猛、富久 重信 計8名 請負業者：飯塚 正成 計1名 <u>合計9名</u>
議題等	議題 1. 各委員会の状況報告 2. 文科省訪問結果の共有 3. 次年度の人員アサイン方針 4. 次回日程  議事要旨 1. 各委員会の状況報告 1-1. 事業推進委員会(報告) 報告1：内部質保証人材育成講座及び担当講師養成講座の開催について ○内部質保証人材育成講座 ・講座概要＝事前学習動画と対面形式講座でワンセット ・定員及び対象者：20名 ・事前学習動画(6時間分) LMSに動画教材搭載し、10/14(火)に受講対象者へ配信済 ① 内部質保証概論：動画7本約2時間 ② 評価概論：動画4本約1時間15分 ③ 内部質保証のための体制整備：動画8本約1時間30分 ④ 評価基準詳解：動画5本約1時間30分 ・対面形式講座(1回6時間②×1日を2会場で開催)

- 福岡会場口(対面講座)=21名参加予定
  - ・日時：令和7年10月27日(月)9:30~17:00
  - ・会場：リファレンス駅東ビル貸会議室2F 会議室I
- 東京会場口(対面講座)=24名参加予定
  - ・日時：令和7年11月5日(水)9:30~17:00
  - ・会場：ビジョンセンター西新宿 7F702

○内部質保証人材育成講座担当講師養成講座

- ・講座概要=対面形式講座(6時間×1日を1会場で開催)
- ・定員及び対象者：20名
- ・開講時期・場所：12月16日(火)、東京にて実施予定
- ・開催告知：「内部質保証人材育成講座」終了後に、受講済み者宛てに11月初旬にメール案内文を送付
- ・対象予定：TCE財団主催の内部質保証人材育成講座受講者  
JAMOTE主催の内部質保証人材育成講座受講者  
全専研2022年開講の内部質保証人材育成講座  
全専研2025年開講の内部質保証人材育成講座  
合計：45名
- ・案内文は別途作成(Slackで後日、共有)

報告2：FD/SDセミナーの開催について

○FD/SDセミナーは、2024年度までの本委員会事業にて作成した「自己点検評価及び運用ガイドライン」「学校関係者評価委員会運用ガイドライン」「中期事業計画策定手順書」に基づくセミナーを検証講座として開講し、各ガイドライン・手順書の開発・完成させる。

- ・FDセミナー  
東京会場：11月13日・14日  
福岡会場：11月18日・19日  
定員：30名(申し込みが定員に達したため募集停止中)
- ・SDセミナー  
東京会場：12月1日・2日  
福岡会場：12月10日・11日  
定員：30名(現在募集中)

報告3：各講座のアンケート取得・検証・成果への反映

各講座終了時に受講者アンケートを実施、本年度事業の成果物となる各種講座の検証・完成

1-2. 評価組織委員会（報告）

- モデル実証段階へ移行。
- 連携協定の進捗共有。
  - ・群馬は提携締結済（拠点化前提）。
  - ・岩手は 10/20 に説明実施。
  - ・香川は 10/25 に説明予定。
- 連携協定の骨子は提示済。詳細は今後具体化が必要。
- 各ブロック単位の巻き込みが必要との認識を共有。
- 理事会との連動を重視。確定事項を段階的に増やす方針。

1-3. 教員研修開発事業（報告）

- 統括委員会の下に 4 委員会で推進。
- 教員概論研修プログラム開発委員会
  - ・「専門学校教員概論」テキストと連動した研修プログラムを完成年度として開発中。
    - キャリア教育財団が実施している 48 時間の新任教員研修の一部導入を視野。
  - ・実証は郡山と那覇にて実施予定。
  - ・デジタル化・ハイブリッド提供を課題として明示。
- 授業改善サポーター養成講座開発委員会
  - ・事業改善サポーター養成講座：ID を活用。オンデマンド／オンライン／対面の併用で普及促進。
- 産学連携推進員育成講座開発委員会
  - ・産学連携推進員育成講座：コンピテンシー評価・ルーブリック化を重視。
  - ・学内ファシリの育成も併行して開発。
  - ・動画教材を開発中。
- 教職員研修実施委員会
  - ・情報公開、FD/SD の努力義務化への対応。
  - ・自己点検→外部評価への接続を意識。
  - ・事業推進委員会と連携して学習内容を決定。
  - ・年度末に成果物取りまとめの必要性を強調。

	<p>2. 文科省訪問結果（共有）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 来年度の評価実施費用の補助・委託スキームを検討中。</li><li>・ 評価者養成研修の委託・補助の可能性言及。</li><li>・ 取りまとめ団体の位置づけが変動中。</li><li>・ 関係機関の受託可否で構図が変わる懸念を共有。</li><li>・ 補助化で根付け・普及の加速を狙うべきとの意見あり。</li></ul> <p>3. 次年度の人員アサイン方針</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 委員長等の特定法人偏重を避ける。</li><li>・ ローテーション導入の方針を継続。</li><li>・ 事務局主導の中立アサインを原則とする方向で確認。</li><li>・ 次回理事会で方針の再確認を行う。</li></ul> <p>6. 次回日程</p> <p>○協議会：1/21（水）15:00-17:00、オンライン開催（決定）。</p> <p>○共通基盤系の関連会合：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 第4回：11/25（火）10:00-12:00、オンライン（予定）。</li><li>・ 第5回：1/13（火）10:00-17:00、オンライン（予定）。</li><li>・ 第6回：2/17（火）15:00-17:00、対面（予定）。</li></ul> <p>※上記は委員会内共有のスケジュールとして提示。確定は各事務局で再確認。</p>
配布資料	